

令和7年度

保谷第一小学校6年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：
（活動名）

未来の自分へアップデート！！

ねらい：

いろいろな立場で働く人の話を聞き、

自分のキャリアについて考える。



【9月5日】

本校卒業生・元
オリンピック選
手の宮川紗江さ
んによる特別授
業を行いました。

夢に向かって努力することの素晴らしさや、挫折や苦しい経験でも宝物になることを実体験から語ってくださいました。「夢は一つでなくてもいい。途中で変わってもいい。」という言葉は、子どもたちの心に響いていました。

また、実際にマット運動の授業もしていただきました。「本物」の技を見たことで、子どもたちのやる気スイッチが入ったようです。コツを聞いて、様々な技に果敢に挑戦していました。

オリンピックという大きな夢に挑戦する途中で、体操が嫌いになりそうになったこともあったそうです。「みんなにもそういうことない？」という問いかけに多くの子が頷いていました。すごく大きな存在でありながら、今の自分の心に寄り添ってくれた宮川さん。頼れる「先輩」の存在に安心した子も多いはずです。



【11月18日】

社会保険労務士の澤
田さなえさんからお話
を聞きました。

「働くてなんだろう？」をテーマに、楽しみながら働くことへのイメージをもつことができました。また、今のうちからあいさつをできるようにしておくことと将来に役立つとも教えていただきました。今できることを一生懸命にやるのが将来につながるというメッセージは子どもたちへのエールとなりました。

【12月6日】

『保一作品展』で6年生は「学芸員」を務めました。他学年の作品の魅力も理解し、来校した保護者の方や地域の方に説明するという役割です。初対面の大人に話しかけることに緊張していた子が多かったですが、「自分から話しかけられた！」「45分があつという間だった！」と終了後には達成感にあふれる声が聞かれました。



「学芸員」になりきって来場者の対応をしたこの経験が、子どもたちのこれからの糧となることを願っています。

まとめコラム

友達と自分を比べたり、将来について思いをめぐらせたりしながら「自分とはどんな人か」深く考えはじめている6年生。話を聞いたり、実際に活動したりする中で、自分の可能性に気付き、自信を育てていけるような場づくりをしていきたいです。3学期は卒業に向けて、そういった場をより多くつくっていきたいと考えています。